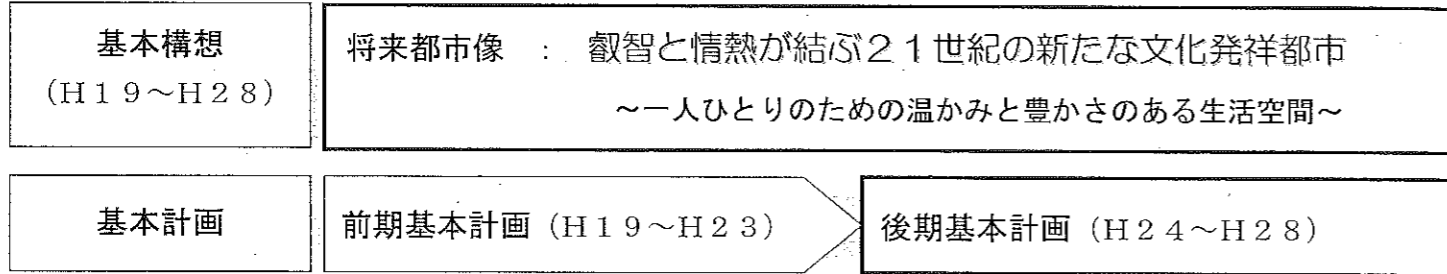


第一次佐久市総合計画  
後期基本計画(素案)

地区懇談会資料

佐久市

# 第一次佐久市総合計画 後期基本計画(素案)の概要



## ●時代背景の変化

- ◆本格的な人口減少・少子高齢化時代への移行
  - ・時代に対応した社会経済システムへの転換
- ◆経済環境の大変動
  - ・世界市場の「大競争時代」と、世界同時不況、円高等による経済・雇用への影響懸念
- ◆東日本大震災による混乱
  - ・経済社会への影響の拡大と長期的な対応、防災・安全対策の強化
- ◆環境・エネルギー・水・食料問題への行動
  - ・「低炭素都市」づくり、エネルギー政策の転換
  - ・世界的な水不足や食料需給のひっ迫の懸念に対する水資源の確保や食料需給率の向上
- ◆情報化社会の進展
  - ・ネットワーク社会の到来、コミュニケーション手段の多様化
- ◆地方分権への動き
  - ・地域主権改革による国から地方への権限移譲の進展
- ◆市民協働社会への歩み
  - ・ボランティア・NPO活動の増加、相互扶助の基礎となるコミュニティの再構築

## ●地域背景の変化

- ◆高速交通網の拡充
  - ・長野新幹線の金沢への延伸予定
  - ・中部横断自動車道の整備進展
- ◆地域医療体制の充実
  - ・浅間総合病院の整備
  - ・佐久大学看護学部の開学
  - ・休日・夜間の歯科、急病診療体制の充実
  - ・佐久総合病院の再構築
  - ・「病病連携」、「病診連携」の構築
- ◆広域行政の推進
  - ・「佐久地域定住自立圏」による新たな連携推進

## ●佐久市の主要課題

- ①若者や子育て世代の定住を促進し人口の増加を図ること
  - ・学び、雇用の場の充実、U・Iターン促進
- ②地域の調和のとれた発展を促し適切な都市構造を築くこと
  - ・商店街活性化、大型店の適切な立地誘導
- ③土地需要の調整と土地利用の適正化を図ること
  - ・土地利用の調整、優良農地・山林の保全
- ④地域の産業の活力を高め雇用機会を拡大すること
  - ・優位産業育成、企業誘致
  - ・雇用機会の確保、拡大
- ⑤地域社会における相互扶助力を高めること
  - ・相互扶助を高めるコミュニティの育成、生活交通・通信の確保
- ⑥佐久の名を誇れる魅力資源や文化を育て、情報発信により交流拡大を図ること
  - ・資源活用、新しい文化創造、情報発信などによる交流人口の創出
- ⑦市民協働によるまちづくりの力を高めること
  - ・市民のとの協働により市民が積極的に参加するまちづくりの推進
  - ・市民活動の活性化と活動体制の強化
- ⑧市民が安心して暮らし続けることができること
  - ・防災対策、安心安全の確保
  - ・超高齢社会の交通・公共施設の検討
  - ・地域資源循環型社会の構築

推進テーマ

### 未来に続く、佐久らしさの追求と創造 ~ チャレンジ!! Saku ~

従来の施策を前例踏襲するのではなく、より効果的な施策の追求などに、叡智と情熱を注ぎ果敢にチャレンジします。

そして、佐久市の特性を十分に生かして「佐久らしさ」を追求するとともに、佐久市が佐久市として未来に続いていくための新しい「佐久らしさ」を創造します。

市民の勇気と元気を喚起するとともに、本市の飛躍的な発展の礎となるような、後期5年間の「チャレンジ!!」を展開します。

施策展開の視点

視点 a	視点 b	視点 c	視点 d
愛着と誇りをもつことができ、住み続けたいまちの魅力づくり	安全で活力ある地域づくりと調和のとれた発展	長期的に持続可能な協働型社会の構築	広域的に求心力のある都市づくり
市民が愛着と誇りをもつことができるまち、人が住み続けたいまちづくりを進め、佐久の都市ブランドを高めます。	適切な土地利用の推進と、民間活力の導入により、各地区の調和のとれた発展を促すとともに、安全な都市を目指します。	都市としての機能を向上させるとともに、少子高齢社会に対応した市民役のまちづくりを進め、市民と行政が協働で知恵と力を出し合う社会を構築します。	佐久地域の中心機能を担う都市として、周辺地域と連携し、多くの人が訪れ、集う、求心力ある都市を目指します。

チャレンジ!!プロジェクト

「魅力倍増」プロジェクト	「弱点克服」プロジェクト	「新しい仕組みづくり」プロジェクト	「佐久を広める」プロジェクト
自然、食・農、保健医療などを生かした「健康的な」まちづくり	地域経済の活性化による雇用創出と安心安全の確保などによる「力強い」まちづくり	少子高齢化への対応や市民協働型社会の実現などによる「未来を見据えた」まちづくり	スポーツなどを通じた交流人口創出や広域連携などによる「中心市たる」まちづくり
《主なチャレンジ》 ○本市の風土や条件に適した新品目導入 ○介護予防の充実による健康寿命延伸 ○生涯を通じた食育の充実 ○太陽光発電の普及拡大 ○全国で一番ごみの排出量が少ない都市	《主なチャレンジ》 ○佐久の特性を生かした高等教育機会の充実 ○魅力的な地域商店街づくりの促進 ○新産業の創出・集積、企業立地の実現 ○地元就職の促進 ○住民支え合いマップの全地区策定 ○防災体制の見直しと強化	《主なチャレンジ》 ○文化施設・図書館の新しい魅力づくり ○地域公共交通の再構築 ○「地域完結型医療」体制の構築 ○「生きるための支援」による自殺対策 ○市民活動支援の情報ネットワーク構築 ○公共施設の適正配置と効率的管理	《主なチャレンジ》 ○観光・文化・スポーツ交流拠点づくり ○一流のスポーツに触れる機会の創出 ○松本佐久間高規格道路の計画促進 ○市民交流ひろばなどを活用した大型観光イベントの開催 ○定住自立圏による広域連携の推進

## 後期基本計画(素案)の施策体系と主な取り組み

章	節	施策項目	後期の主な取り組みの見出し
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥	1 豊かな人間性を育む 文化の創造	文化・芸術	(1)文化振興のあり方検討 (2)既存施設の充実と有効活用 (3)市民の文化・芸術活動の促進 (4)佐久の先人の調査検討と成果の活用 (5)文化財の保護・継承と有効活用
		地域間交流・国際交流	(1)交流人口の創出 (2)国際性豊かな人材育成 (3)在住する外国人が暮らしやすいまちづくり
		男女共同参画社会	(1)男女共同参画意識づくり (2)男女が共にすこやかに暮らし、安心して働ける環境づくり (3)人権の尊重と暴力のない社会づくり
		人権尊重社会	(1)人権意識の高揚 (2)人権教育の推進
	2 未来を担う人づくり	幼児教育	(1)幼児教育の充実 (2)幼児教育環境の整備 (3)幼児の生活習慣指導の充実
		学校教育	(1)学校教育施設の充実 (2)教育内容の充実 (3)特別支援教育、不登校対策の推進 (4)学校給食の充実 (5)児童生徒の保健管理と安全対策
		高校教育・高等教育	(1)高校教育の充実 (2)優秀な人材の育成
		青少年の健全育成	(1)地域ぐるみの青少年育成 (2)青少年研修事業の推進 (3)交流・学習拠点施設の充実
	3 生涯学習・生涯スポーツ活動の支援	生涯学習	(1)生涯学習活動の活発化 (2)生涯学習環境の充実 (3)図書館サービスの充実
		スポーツ	(1)生涯スポーツ参加機会の充実 (2)競技スポーツの振興 (3)体育施設の充実
第2章 ネットワークで築く地域の個性特色を生かした多機能都市づくり	1 交通ネットワークの形成	高速交通ネットワーク	(1)高速自動車道の整備促進 (2)北陸新幹線の整備促進 (3)広域道路の整備促進 (4)高速交通ネットワークの利用促進
		地域交通ネットワーク	(1)地域幹線道路網の整備 (2)生活道路の整備充実 (3)道路の計画的な維持管理 (4)地域公共交通の維持・見直し (5)広域的公共交通機能の充実
	2 個性・特色を生かしたまちづくり	土地利用	(1)秩序ある土地利用の推進 (2)バランス良い都市構造の再構築 (3)土地需要の調整と適正な土地利用の誘導 (4)国土調査の推進
		市街地	(1)良好な市街地の形成
		住宅・宅地	(1)総合的な住宅施策の方針策定 (2)公営住宅の整備と管理 (3)住宅・宅地の適正供給 (4)住環境空間の創出 (5)耐震改修の促進
	3 高度情報通信ネットワークの形成	高度情報通信ネットワーク	(1)地域情報化の推進 (2)情報提供・情報発信の充実 (3)行政・市民サービスの情報化 (4)情報のセキュリティ管理
	第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出	1 個性ある農林水産業の展開	農業
林業			(1)林業生産の振興 (2)森林の保全 (3)森林の多面的機能の活用
水産業			(1)内水面漁業の振興 (2)ブランド力の強化
2 にぎわう・ふれあう商業の展開		商業・サービス業	(1)商業経営の体質強化 (2)魅力ある商店街の形成 (3)商業立地バランスと利便性の確保 (4)流通・サービス業の振興 (5)新たな商品開発とブランド化の促進
3 ネットワークと交流で輝く観光拠点の創出		観光	(1)観光基盤の整備 (2)観光振興施策の推進 (3)観光の情報発信 (4)多様な主体間の連携の促進
4 技・ヒト・モノが集う工業の進展		工業	(1)ものづくり産業の育成 (2)工業基盤の整備と活用 (3)企業誘致の推進 (4)多様な主体間の連携の促進 (5)人材の育成
5 働く機会と人づくり		就労・雇用	(1)雇用機会の確保・創出 (2)労働力の確保 (3)勤労者福祉の充実

章	節	施策項目	後期の主な取組みの見出し
第4章 みんなが生涯 現役で住みよ い健康長寿の まちの形成	1 みんなが生きいきと 安心して暮らせるまちづくり	福祉のまちづくり	(1)地域福祉の推進 (2)ボランティア活動の促進 (3)社会参加の促進
		高齢者福祉・介護保険	(1)高齢者支援サービスの推進 (2)高齢者福祉施設の整備 (3)介護保険の適正な運営 (4)成年後見制度利用促進
		障害者福祉	(1)障害者福祉サービスの充実 (2)障害児等に対する支援 (3)障害者施設の充実 (4)障害者の社会参加の支援
		母子父子福祉・低所得者福祉	(1)母子・父子福祉の充実 (2)低所得者福祉の充実
	2 心とからだの健康づくり	健康増進	(1)地域保健組織の育成 (2)健康づくり活動の推進 (3)食育の推進 (4)健康管理システムの整備
		保健活動	(1)生活習慣病予防の推進 (2)高齢者保健の充実 (3)感染症予防対策の推進 (4)精神保健の充実
		医療	(1)地域医療体制の充実 (2)浅間総合病院の充実
		医療保険・国民年金	(1)国民健康保険の健全運営 (2)後期高齢者医療制度への対応 (3)国民年金制度の適正な推進
	3 安心して子どもを 生み育てら れる子育て支援	子育て支援・児童福祉	(1)子育て支援ネットワークの拡充 (2)保育サービスの充実 (3)児童館の整備と運営
		母子保健	(1)母子保健事業の推進 (2)思春期保健事業の推進
第5章 水と緑きらめく 自然とともに生 きる快適環境 の創出	1 自然とともに暮らすまちづくり	環境保全	(1)総合的環境施策の推進 (2)環境保全対策の推進 (3)地球環境保全の啓発や実践
		街並み緑化・公園・景観形成	(1)公園の整備推進 (2)公園の適正な維持管理と利用 (3)水辺空間の整備 (4)緑化の促進 (5)景観計画の推進
	2 資源循環型社会の形成	環境衛生	(1)廃棄物処理対策の推進 (2)し尿・汚泥対策の促進
		上水道	(1)水資源の保全 (2)上水道の整備・管理
		下水道	(1)公共下水道の整備と管理 (2)下水道の健全経営 (3)合併処理浄化槽の普及と管理 (4)効率的な生活排水処理施設の統廃合
第6章 市民生活の安 全確保と市民 満足度の向上	1 安心して安全なまちづくり	防災	(1)防災体制の強化 (2)防災対策の推進 (3)市民の防災意識の高揚 (4)国民保護体制の整備
		消防・救急	(1)広域消防・救急体制の強化 (2)地域消防体制の充実 (3)市民・民間の防火体制充実
		交通安全	(1)交通安全環境の整備 (2)交通安全意識の高揚 (3)相談・救済体制の充実
		防犯	(1)防犯体制・防犯活動の強化 (2)防犯環境の整備
		消費生活	(1)消費者保護対策の推進 (2)消費者意識の高揚
	2 市民満足度の向上	協働のまちづくり	(1)市民の市政参加機会の拡充 (2)広報・広聴の充実 (3)協働のまちづくりの推進 (4)情報提供と個人情報保護
		コミュニティの育成	(1)地域自治組織の育成 (2)コミュニティ活動環境の充実 (3)住民主体のまちづくりへの支援
		公共施設	(1)公共施設の管理方法 (2)公共施設の適正な配置と整備 (3)公共施設の耐震化
		行財政	(1)効率的な行政運営 (2)効率的な財政運営 (3)適正な人事管理と職員能力発揮 (4)入札及び契約の適正化
		広域連携	(1)広域行政の推進 (2)定住自立圏構想の推進

後期基本計画の各施策項目における「目標」と「チャレンジ」概要(案)

※表中の「目標値」は、後期基本計画期間内で達成しようとする成果指標として設定するもの。「チャレンジ」は、後期期間のみならず、各施策を展開する中で、今後の目指す方向として設定するもの。

	施策項目	目標項目	現状値 [時点]	目標値	チャレンジ
第1章	文化・芸術	貸し館系施設の延べ利用件数 (件/年)	8,705 [H22]	9,500	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。(c 新しい仕組みプロジェクト)
		観覧系施設の延べ入館者数 (人/年)	38,844 [H22]	40,000	
		少年考古学教室参加者数 (人/年)	67 [H22]	80	
	地域間交流・国際交流	国際交流フェスティバル参加者数 (人/年)	2,800 [H22]	3,500	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。(d 佐久を広めるプロジェクト)
		国際交流サロン参加者数 (人/年)	319 [H22]	400	
		空き家バンク掲載物件の年契約成立件数 (件/年)	39 [H22]	50	
	男女共同参画社会	審議会等における女性委員の登用率 (%)	18.5 [H22]	25.0	DV被害にあった時に、市に相談窓口があることを知っている市民の割合が100%となることを目指します。(c 新しい仕組みプロジェクト)
	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの参加者数 (人/年)	7,619 [H22]	8,000	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象0(ゼロ)のまちを目指します。(b 弱点克服プロジェクト)
		隣保館活動などの参加者数 (人/年)	4,511 [H22]	4,800	
	幼児教育				
	学校教育	小学校不登校児童の割合 (%)	0.36 [H22]	0.32	中学校区ごとの教育推進会議を中心に、小学校から中学校に一人ひとりの教育成果・課題をスムーズに引継ぎ、小中学校間で指導の方針や方向を共有して、義務教育9年間の学びの充実を目指します(a 魅力倍増プロジェクト)
		中学校不登校生徒の割合 (%)	3.24 [H22]	2.74	
	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数 (人)	32 [H22]	40	佐久市の環境を生かした高等教育機関の誘致など、高等教育機会の拡充を促進します。(b 弱点克服プロジェクト)
	青少年の健全育成	各地区の育成活動への参加者数 (人/年)	183,139 [H22]	184,000	家庭、学校、地域、関係団体との連携を強化し、青少年を健全に育成する地域ぐるみの取り組みを充実させます。(c 新しい仕組みプロジェクト)
	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数 (人/年)	31,394 [H22]	32,000	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークを構築します。(c 新しい仕組みプロジェクト)
公民館事業別延べ参加者数 (人/年)		36,863 [H22]	38,000		
図書の貸出し冊数 (冊/年)		531,901 [H22]	600,000		
スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数 (人/年)	4,225 [H22]	5,000	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。(d 佐久を広めるプロジェクト)	
	スポーツ大会延べ参加者数 (人/年)	15,912 [H22]	17,500		
	体育施設延べ利用者数 (人/年)	631,300 [H22]	700,000		

	施策項目	目標項目	現状値 [時点]	目標値	チャレンジ
第2章	高速交通ネットワーク	長野新幹線長野一金沢間の開通	未開通 [H22]	開通	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。(d 佐久を広めるプロジェクト)
		中部横断自動車道佐久南インターチェンジャー(仮称)八千穂インターチェンジ間の開通	未開通 [H22]	開通	
		中部横断自動車道(仮称)八千穂インターチェンジから(仮称)長坂ジャンクション間の整備計画格上げ	基本計画区間 [H22]	整備計画区間	
	地域交通ネットワーク	幹線道路整備延長 (m)	5,531 [H22]	8,831	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。(c 新しい仕組みプロジェクト)
		都市計画道路整備延長 (m)	59,527 [H22]	63,377	
		アダプトシステム管理箇所 (箇所)	3 [H22]	19	
		公共交通延べ利用者数 (人)	108,390 [H22]	125,000	
土地利用	(今後、土地利用計画佐久市計画を策定する中で、検討する)			産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効活用を促進します。(b 弱点克服プロジェクト)	
市街地	跡部臼田線・龍岡城駅線の整備率 (%)	0.4 [H22]	100	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。(a 魅力倍増プロジェクト)	
住宅・宅地	住宅マスタープランの策定	未策定 [H22]	策定	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。(c 新しい仕組みプロジェクト)	
高度情報ネットワーク	電子申請の件数 (件)	36 [H22]	500	市内の(市外でも)どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。(c 新しい仕組みプロジェクト)	
第3章	農業	認定農業者数(経営体)	268 [H22]	310	佐久市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。(a 魅力倍増プロジェクト)
		農業アシスタントの確保(人)	20 [H22]	70	
		農業法人数(法人)	16 [H22]	20	
		農畜産物産出額(億円)	108 [H18]	110	
	林業	森林整備面積(ha/年)	610 [H22]	780	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。(b 弱点克服プロジェクト)
	水産業	佐久鯉出荷量(t/年)	110 [H21]	115	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。(a 魅力倍増プロジェクト)
	商業・サービス業	年間商品販売額(億円)	1,994 [H19]	2,100	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。(b 弱点克服プロジェクト)
	観光	市内への入込客数(万人)	162 [H22]	190	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。(d 佐久を広めるプロジェクト)
	工業	製造品出荷額(億円)	1,869 [H21]	2,500	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。(b 弱点克服プロジェクト)
	就労・雇用	就職相談会参加者数(人/年)	113 [H22]	120	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。(b 弱点克服プロジェクト)
インターンシップ実施学生数(人/年)		7 [H22]	10		

	施策項目	目標項目	現状値 [時点]	目標値	チャレンジ
第4章	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数 (回/年)	14 [H22]	16	全地区が災害時住民支え合いマップを完成し、必要に応じて見直し更新を行います。(b 弱点克服プロジェクト)
	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の参加者数 (人/年)	19,095 [H22]	23,500	介護予防事業を通じ、健康寿命を延ばします。(a 魅力倍増プロジェクト)
	障害者福祉	相談支援事業実施事業所数 (事業所)	5 [H22]	20	
	母子父子福祉・低所得者福祉	自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費受給者数 (人/年)	4 [H22]	6	
	健康増進	ぴんころステーション参加者数 (人/年)	1,715 [H22]	2,000	食育を通して食を大切にする心を育み、朝食を毎日食べる小学生・中学生の割合を100%にします。(a 魅力倍増プロジェクト)
		3歳児のむし歯保有率 (%)	26.71 [H22]	20.00	
	保健活動	メタボリックシンドローム該当者予備軍の割合 (%)	25.2 [H22]	15.2	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。(c 新しい仕組みづくりプロジェクト)
	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率 (%)	0 [H22]	100	市民・地域・医療機関との連携・協力を進め、日常の生活圏において必要なときに必要な医療サービスを受けることのできるよう地域に密着した地域完結型医療を構築します。(c 新しい仕組みプロジェクト)
	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率 (現年課税分) (%)	90.26 [H22]	100.0	特定健康診査の受診率を65%まで引き上げます。(b 弱点克服プロジェクト)
	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの利用者数 (人)	7,908 [H22]	8,300	佐久市の合計特殊出生率を1.6から1.9まで伸ばします。(a 魅力倍増プロジェクト)
つどいの広場の利用者数 (人)		12,927 [H22]	13,500		
児童館の利用者数 (人)		303,975 [H22]	319,000		
母子保健	こんにちは赤ちゃん事業訪問率 (%)	96 [H22]	100	父母への啓発活動の強化などにより、乳幼児健診受診率100%を目指します。(a 魅力倍増プロジェクト)	
第5章	環境保全	市内家庭の総消費電力 (MkW)	239,143 [H22]	191,315	家庭用太陽光発電システムの設置総容量を10,000Kwにします。(a 魅力倍増プロジェクト)
	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数 (人/年)	411,947 [H22]	420,000	アダプトシステムによる公園管理の実施率を36%まで向上させます。(c 新しい仕組みプロジェクト)
		都市公園の整備面積 (㎡/人)	7.94 [H22]	9.82	
	環境衛生	家庭ごみの排出量 (t/年)	21,384 [H21]	19,591	1人あたりごみ排出量が少ない都市、全国1位を目指します。(a 魅力倍増プロジェクト)
		事業系ごみ排出量 (t/年)	5,296 [H21]	4,670	
	上水道	上水道普及率 (%)	99.7 [H17]	99.7	
	下水道	下水道整備面積 (ha)	2,925 [H22]	3,026	市内の全戸水洗化を図ります。(a 魅力倍増プロジェクト)
水洗化率 (%)		86.9 [H22]	90.9		
下水道使用料収納率 (%) (現年分)		91.5 [H22]	100.0		



	施策項目	目標項目	現状値 [時点]	目標値	チャレンジ
第6章	防災	自主防災組織設置区数 (区)	230 [H22]	239	地域ごとの特性を考慮した防災対策を推進し、地域防災の強いまちをつくり ます。 (b 弱点克服プロジェクト)
		地域自主防災訓練実施区 (区)	143 [H22]	239	
	消防・救急	消防団協力事業所 (箇所)	57 [H22]	100	消防・救急体制を充実し、市民の財産・生命を守ります。(a 魅力倍増プロ ジェクト)
		火災発生件数 (件/年)	52 [H22]	25	
	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの参加者数 (人 /年)	10,442 [H22]	16,000	交通事故死者数 0 (ゼロ) のまちを目指します。(b 弱点克服プロ ジェクト)
	防犯	犯罪発生件数 (件/年)	1,079 [H22]	835	地域防犯体制の充実と地域住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪の起きないま ちづくりを推進します。(b 弱点克服プロジェクト)
	消費生活	消費生活トラブルなどの相談件数 (件/年)	481 [H22]	350	振り込め詐欺などの消費者被害の根絶を目指します。(b 弱点克服プロ ジェクト)
	協働のまちづくり	市民活動サポートセンター団体登録 (団体)	0 [H22]	300	佐久市市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動支援のための情報 ネットワークを構築し、人とひとを結ぶ心豊かなまちを創ります。(c 新 しい仕組みプロジェクト)
		佐久市まちづくり活動支援事業の活用による市民活動の 促進 (団体/年)	4 [H23]	10	
		各審議会等全体公募委員割合 (%)	5.2 [H23]	10.0	
		公文書開示請求件数 (件/年)	198 [H22]	158	
	コミュニティの育成				一人ひとりの活力により、市民同士による共助と地域の魅力を高めます。 (c 新しい仕組みプロジェクト)
	公共施設	新規指定管理者制度導入施設 (施設)		毎年度 1 施設	統廃合も含めた公共施設の適正配置と効率的な運営や維持管理を進めます。 (c 新しい仕組みプロジェクト)
行財政	市税徴収率 (現年課税分) (%)	97.25 [H22]	100	自主財源の確保対策などにより、財政力指数の向上を目指します。(b 弱 点克服プロジェクト)	
広域連携	定住自立圏による事業実施数 (事業)	0	25	佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感 のあるまちづくりを進めます。(d 佐久を広めるプロジェクト)	



# Sample

## 第1節 豊かな人間性を育む文化の創造

### 文化・芸術

#### 前期の主な取り組み

- 川村吾藏\*の業績を後世に伝える川村吾藏記念館を平成21年度に整備しました。
- 甲冑博物館の建設は中止し、既存施設において展示・保管することにしました。
- 総合文化会館の建設は、平成22年度に実施した住民投票の結果を尊重し中止しました。
- まちじゅう美術館\*事業では、学校などで開催する移動展を平成20年度から新たに実施しています。
- 佐久市立近代美術館では、平成17年度以降で、210点の美術品を新たに収集し、保管していくとともに年間5回の展覧会で展示しました。
- 白田町誌の編纂が終了し、全5編を刊行しました。

#### 現状と課題

- 市民参加による新たな文化振興の体系づくりを進める必要があります。
- 既存施設の有効活用と活性化を図るため、設備・収蔵品の充実や、連携事業を拡充する必要があります。
- 市民の文化・芸術活動の体制強化を図るため、支援策を検討する必要があります。
- 佐久にゆかりのある先人の人となりや業績を後世に伝えるため、調査・検討を行っています。その成果の公表と活用方法を検討する必要があります。
- 文化財や歴史・民俗資料の調査及び保護・保存を引き続き進めるとともに、有効活用を図る必要があります。

#### 後期の主な取り組み

- (1) 文化振興のあり方検討
  - 市民参加により、新たな文化振興の体系と方針を示した計画を策定し、市民主体の文化振興施策を推進します。
- (2) 既存施設の充実と有効活用
  - さくぶん連携事業\*により、施設の有効活用と企画・情報発信の拡充を図ります。
  - 既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と、適切な維持管理を図ります。
  - 展示を魅力あるものとするため、収蔵品の充実や保全・修復を進めるとともに、展示・保管環境の整備に努めます。
- (3) 市民の文化・芸術活動の促進
  - 文化・芸術団体の自主的な活動と、後継者を育てるための環境整備に努めます。
  - 佐久市立近代美術館を作品発表の場として提供し、市民の芸術活動を支援します。
- (4) 佐久の先人の調査検討と成果の活用
  - 佐久の先人検討事業\*による調査・検討成果の公表と活用を進めます。
- (5) 文化財の保護・継承と有効活用
  - 地域の文化財の調査を進め、適切な保護・保存を図ります。
  - 貴重な無形文化財を後世に伝えるため、後継者の育成を図ります。
  - 文化財への関心を高めるため、講座や体験会などの充実努めます。

#### 目標

項目(単位)	現状値	目標値
貸し館系施設*の延べ利用件数(件/年)	8,705 [H22]	9,500 [H28]
観覧系施設*の延べ入館者数(人/年)	38,844 [H22]	40,000 [H28]
少年考古学教室参加者数(人/年)	67 [H22]	80 [H28]

貸し館系施設：生涯学習センター、コスモホール、交流文化館浅科  
 観覧系施設：近代美術館、旧中込学校、五郎兵衛記念館、天来記念館、望月歴史民俗資料館、天体観測施設、鎌倉彫記念館、白田文化センター、川村吾藏記念館

#### チャレンジ!!

文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。  
 (c 新しい仕組みプロジェクト)

\*川村吾藏(1884~1950):公共彫刻のほか、乳牛像、著名人の胸像などを制作し、海外で高い評価を得た本市出身の彫塑家。

\*まちじゅう美術館:市民が身近に美術作品に親しむ空間を提供するため、市立近代美術館の収蔵品を公共施設で展示公開する事業。

\*さくぶん連携事業:本市の文化関連施設(愛称:さくぶん)間の連携により、共同企画・イベントの実施や、情報の共有・発信を図り、施設の魅力を高めるための事業。

\*佐久の先人検討事業:本市にゆかりのある先人の業績や人となりを後世に伝えるため、先人の選定や、調査・検討成果の公表や活用などを行う事業。